

# 文化の力で世界に貢献する京都の実現について

【担当省庁】内閣官房、内閣府、文部科学省

文化庁の京都移転や世界中が注目する大阪・関西万博の機を捉え、京都から文化創造・発信を行うとともに、多彩な交流を図ることで、国内外から高い評価を受ける「文化の都・京都」の実現に向けて、以下の措置を講じていただきたい。

- メディア文化（アニメ、映画、ゲーム等）のコンテンツが揃う京都の特色を生かした「太秦メディアパーク構想」の実現に向け、デジタル田園都市国家構想交付金を活用して、民間事業者の施設等整備に対する補助を行う場合の地方負担についても、地方交付税の増額措置を復活するなど、地方財政措置の拡充

## 京都府・京都市共同提案

- 文化庁メディア芸術祭の後継となる新たなメディアアート、デジタルアート振興のための芸術祭の再構築と京都での開催
- 我が国におけるアート市場の規模拡大に向け、国際的に評価される作家を育てる仕組みを構築する国際アートフェア「Art Collaboration Kyoto」を進化させ、日本を代表するアートフェアとするための国による支援制度の創設
- プロやアマの音楽家をはじめ、音楽家を夢見る人々が世界中から集まり、交流し、新しい音楽を創造・発信する「“ミュージックフュージョン” 京都国際音楽祭（仮称）」開催への支援
- 文化観光の振興など地域の活力の向上に資する京都国立博物館の機能強化の実施
- 文化財の維持管理や保存修理・整備、防災施設整備等に要する費用負担が困難な状況において、都道府県・市町村・文化財所有者等が実施する文化財の保存・活用の取組に対する支援の充実

## 京都府・京都市共同提案

- 京都の優れた文化財をユニークベニューとして活用し、文化庁長官表彰の式典や文化庁主催の会議等を継続的に開催するとともに、ユネスコ文化大臣会合をはじめ、文化の国際交流の舞台となる会議やイベントなどの京都誘致の推進

|               |         |                        |
|---------------|---------|------------------------|
| 京 都 府<br>の担当課 | 文化生活部   | 文化政策室(075-414-5166)    |
|               |         | 文化芸術課(075-414-4216)    |
|               | 商工労働観光部 | ものづくり振興課(075-414-4852) |
|               | 教育委員会   | 文化財保護課(075-414-5896)   |

**【国の事業等】**

■デジタル田園都市国家構想交付金〔内閣府〕 1,000 億円

- ▶ デジタルの活用などによる地方創生に資する取組や拠点施設の整備などを支援  
民間事業者の施設等整備に対する補助に係る地方負担について、令和4年度第2次補正予算分第1回募集では地方交付税の増額措置があったが、第2回募集から措置されないこととなった

■メディア芸術の創造・発信プラン〔文化庁〕 9.85 億円

- ▶ メディア芸術クリエイター育成支援及びメディア芸術の国際発信等

■文化芸術創造拠点形成事業〔文化庁〕 14.64 億円

- ▶ 文化芸術分野の専門的人材を活用した、地域アーティストの活動支援、地域住民やステークホルダーとの連携・協働、地域の文化芸術資源を活用した文化芸術活動の実施等の総合的な取組を支援

■国際文化交流・協力推進事業〔文化庁〕 0.67 億円

- ▶ 文化・芸術関連事業など、国として対応が必要となるトップレベルの文化芸術発信事業や国際文化交流事業を実施

■国立博物館の夜間拝観等

- ▶ 東京国立博物館 金・土 20時まで 当面の間、特別展時のみ
- ▶ 国立西洋美術館 金・土 20時まで
- ▶ 京都国立博物館 イベント期間中など特定日において、金・土 20時まで

■令和5年度の文化財関係補助金のうち、減額率の大きい項目

- ▶ 記念物 -43%、埋蔵文化財 -32%、建造物（防災）-32%、記念物（防災）-31%、指定文化財 -27%

■文化資源を活用したインバウンドのための環境整備〔観光庁〕 40 億円

- ▶ 2025 大阪・関西万博に向けて、地方公共団体が主体となり、文化芸術資源を活用した新しい時代のインバウンド需要に資する文化芸術事業を支援

**【京都府の取組】**

■太秦メディアパーク共創拡大事業費 6 百万円

- ▶ 太秦エリアにおいて、新たな産業創造拠点として情報関連産業に特化した都市型のリサーチパーク形成を目指す。令和6年度には、映画製作・編集・配信等の技術開発や、コンテンツ系ベンチャーの育成支援機能を併せ持つボリュームメトリックビデオスタジオやインキュベーションの建設を予定

■クロスメディアクリエイター人材育成事業 24 百万円

- ▶ 映画・映像、ゲーム等のクリエイターの制作活動や新事業展開等を支援

■海外販路開拓プログラム事業費 10 百万円

- ▶ 京都の工芸美術・アートの動画コンテンツを制作し、国内外に発信

■Art Collaboration Kyoto (ACK) 46 百万円

- 世界的な作家の作品の国際現代アート展（出展 54 ギャラリー、31 ブース）  
会 期：令和4年11月18日～20日、会場：京都国際会館